



SORAK Development Agency

Registered NGO: No:8726

UEB Zone ,Church Road –Mullago;P.o Box, 71883 Clock Tower –Kampala;Tel:+256 703515225

Mubende Office: Lusairia T/C, 16km from Mubende Town along Mubende –Fort portal Road



NPO法人グローバルブリッジネットワーク
Global Bridge Network

プロジェクト名：生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業（ウガンダ共和国）

活動: 月経衛生クラブによる生理の衛生管理、性教育、ジェンダー啓発の普及

(活動 2-2-2 生徒から生徒へ行う月経時の衛生管理セッション)

※本レポートでは「Menstrual Hygiene Management (MHM)」を「月経時の衛生管理」と表記する。また、MHM Club のことを「月経衛生クラブ」と表記する。「月経衛生クラブ」とは、月経時の衛生管理・性教育・ジェンダー啓発活動を生徒たち自身で行うクラブ活動のことである。

日時と活動場所:

2018年11月7日 聖ジョセフ・チバリンガ 初等学校

2018年11月8日 プレシヤス・チャイルド・ラーニング・センター

2018年11月8日 ルワウナ初等学校

はじめに

プロジェクトの対象者が自ら主体性を持つことで今後も事業が継続するように、SORAKはそのパートナー（GBN、並びにLUSH Japan）の支援を受け、プロジェクトの対象校3校にて「月経衛生クラブ」を設立した。各クラブは女子生徒8名、男子生徒4名からなり、対象校3校の全メンバーの合計は36名（女子24名、男子12名）である。各校で設立された3つのクラブは、女性・男性の主任教員、学校管理者、並びに保護者の協力、またSORAKのプログラムスタッフのモニタリングによるサポートを受けながら、月経時の衛生管理におけるクラブ活動を日常的に生徒が主導して実施する。

2018年11月、対象校3校の各クラブは、教員やSORAKプログラムスタッフの指導のもと、他の生徒たちに布ナプキン作成および月経に関わる問題に対処する月経時の衛生管理セッションを実施した。

トレーニングの目的：

トレーニングの主な目的は、生徒たち（月経が始まっている、あるいは、初潮を迎える年齢であるが、それについて何も聞かされていない生徒）が月経時の衛生管理に関する知識全般とスキルを身に着けることである。なお、このトレーニングは、子どもから子どもへ伝える手法（Child-Child アプローチ）を用いて実施された。

トレーニングの内容

各クラブが実施したトレーニングの内容は、以下の通り行われた。

- 月経の概要

対象校 3 校の各月経衛生クラブは、月経の概要、また月経とはどのようなもので、誰が月経を向かえるのかについて生徒たちにわかりやすく説明した。クラブのメンバーは、思春期の女子であれば誰もが初潮を経験するということを説明した上で、まだ初潮を迎えていない女子に対しても、今から生理を迎える準備をしておいたほうが良いということも明確に伝えた。また、学校で月経時の衛生管理活動を実施する上で、最初の段階で男子生徒が女子生徒をからかうことが障害として認識されたため、本トレーニングに男子生徒も参加させた。

- 月経周期

月経周期について、通常の月経周期は 28 日間であること、但し、それよりも短・長期間であっても正常であることも月経衛生クラブから生徒たちに説明した。また、クラブは生徒たちに月経の始まった日と終わった日をカレンダーに記録することを推奨した。また、月経の開始予定日の数日前から、生理用品を持ち歩くことで、制服を血液で汚してしまわないようにというアドバイスした。

- 月経の兆候・症状/特徴

月経衛生クラブは、月経の兆候・症状として、疲労・頭痛・腹痛・気分変動があることを述べた。また月経の期間中は、血流を良くするために運動することを生徒たちに薦めた。

- 月経の衛生管理

月経衛生クラブは生徒たちにどのように月経衛生管理を行わなければならないかを説明した。特に個人の衛生管理、例えば、生理用品は 7 時間ごとに交換しなければならないこと、朝晩 2 回水浴びをすること、感染症を防ぐため下着や生理用品を他人と共用しないこと、生理用品を他人の手の届かない場所に清潔に保管するように伝えた。

- 布ナプキンの作成

月経衛生クラブは、布ナプキンを作成の材料（生地）と共に、各生地の使用目的と、布ナプキンの作成法を説明した。大勢の生徒がいるため、各クラブと教員は、毎週定期的に布ナプキンの作成セッションを開催することとした（ルワウナ初等学校は毎週木曜日の午後、聖ジョセフ・チバリング 初等学校は毎週水曜日の午後、プレシヤス・チャイルド・ラーニング・センターは毎週金曜日の午後である）。クラブは、布ナプキンの作成セッションは毎回少人数の生徒を参加させ、最終的には全ての生徒が作成の技術を習得できるように調整する。



プレシャス・チャイルド・ラーニング・センターにおける月経衛生クラブによる月経時の衛生管理トレーニング



同センターにおけるクラブメンバーの他の生徒への布ナプキン作成トレーニングの様子



プレシャス・チャイルド・ラーニング・センターにおける布ナプキンの使用方法のデモンストレーション



セッション後の生徒たちの集合写真



ルワウナ初等学校のクラブによる布ナプキンの材料の裁断



材料がどのように布ナプキンになるのかをデモンストレーションするクラブメンバー



聖ジョセフ・チバリング 初等学校のクラブが
布ナプキンと目的を示している様子。



ルワウナ初等学校の月経衛生クラブにより個々で
行う衛生管理について説明



SORAK のプログラムスタッフは、聖ジョセフ・チ
バリング 初等学校の生徒たちにクラブからサポー
ト・指導を受けるよう呼び掛けている



布ナプキンの使い方を生徒たちに指導する同校の
クラブメンバー

トレーニングの成果

- 生徒たちは月経に関する知識を身に着け、月経とはどういうもので、誰が初潮を迎える対象なのかを説明できるようになった。

- 生徒 624 名(男子生徒 215 名/女子生徒 409 名)が月経時の衛生管理トレーニングに参加した。3 校の 215 名の男子生徒は、女生徒が月経時に衣服が汚れた際にからかう悪しき習慣をなくすよう尽力すると約束した。
- 学校管理者は月経衛生クラブの役割を称賛し、今後も活動を支援していくことを誓った。そして、学校にクラブが存在することにより自分たちの学校の業務（役割）が円滑になることを認識した。
- 全対象校 3 校にて、毎週クラブ活動の時間を割り当てることに同意した。聖ジョセフ・チバリング 初等学校は毎週水曜日の午後、ルワウナ初等学校は毎週木曜日の午後、プレシャス・チャイルド・ラーニング・センターは毎週金曜日の午後を実施する。教員によると、教育スポーツ省により課外活動の時間を制定しているが、課外活動を行っていない学校も多いとのことである。本プロジェクトの全対象校は、課外活動の時間を活用し月経時の衛生管理活動として、布ナプキン作成に充てることを約束した。

<おわりに>

SORAK は、GBN、LUSH Japan のおかげでムベンデ郡の農村部の社会的立場の弱い女子へ支援できることに心から感謝する。また、聖ジョセフ・チバリング 初等学校、ルワウナ初等学校、プレシャス・チャイルド・ラーニング・センターの 3 校に在籍する思春期の女子学生が月経により学校を休んだり、退学する生徒が減少したことを大変うれしく思う。